

# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

JCI Junior Chamber International OKAYAMA

## 2019 Vol.3

- 01. なぜ岡山にフジアーノがあるのかを考え続ける
- 04. 第26回うらじゃ2019事業報告
- 06. 2019年度事業・活動のご報告
- 08. 岡山青年会議所のアツいメンバーたち
- 09. メンバーオススメの飲食店

特別対談

なぜ岡山にフジアーノがあるのかを考え続ける

古市 聖一郎

公益社団法人岡山青年会議所 第69代理事長

北川 真也

株式会社フジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役社長



# 暖流

公益社団法人岡山青年会議所  
Since 1951

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧くださいありがとうございます。青年会議所(JC)は全国に694あり、それぞれが住み暮らす「まち」がより良くなること、地域経済の活性化や地域が抱える問題解決などを目的に活動している、20歳から40歳までの青年経済人で構成される団体です。

岡山青年会議所が2019年度に予定している事業も次々に実施となり、どの事業も無事に実施をすることができました。今年度掲げております「Excite!okayama」のスローガンにふさわしい事業となるよう入念に準備し実施をまいりましたが、少しでも岡山の皆様にとってインパクトのある、そしてわくわくする事業をお届けできたのではないかと考えております。ご協力を賜りました関係団体の皆様、ご協賛を賜りました各企業の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。次年度の理事長予定者も決定し、岡山青年会議所では今年度と次年度が錯綜する大変忙しい時期になりましたが、私自身も最後まで第69第理事長として職務を全うする所存でございますので、岡山青年会議所に対し一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2019年度 第69代理事長

古市 聖一郎



岡山青年会議所の2019年度スローガン。誰もがわくわくするまちの実現のために、おかやまにしかない「らしさ」を発信し、青年らしい青年にしかできない発想力で創り上げたわくわくする事業を展開できるように、そして我々はもちろん、誰もがおかやまを好きになってくれるようにという願いをこめてこのスローガンを制定いたしました。英字のフォントを採用することで青年らしいスタイリッシュさやスマートさを出すとともに、揺れ動く文字でわくわく感や躍動感を表現しています。

## 北川真也

株式会社ファジアーノ  
岡山スポーツクラブ  
代表取締役 社長

### 特別対談 SPECIAL TALK

## なぜ岡山に ファジアーノがあるのかを考え続ける

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブの北川真也社長に、  
スポーツクラブが地域に与える役割について語っていただきました。

古市聖一郎(以下、古市) 北川社長は若くして社長に就任されましたが社長に就任された経緯はどのようなものだったのですか。

北川真也(以下、北川) 社長に就任したのは39歳の時でしたが、突然のことでしたので、本当に引き受けていいのか悩んで二度は断りました。というのもファジアーノ岡山がスポーツクラブとしてだけではなく、地域にどう関わり、貢献していくのかというビジョンがハッキリしていなければ、引き受けてはいけないと思ったんです。しかし断った翌日に「お前に断る権利はない」と言われまして(笑) やるからには「なぜ岡山にファジアーノがあるのか」をしっかり考えて、答えを見つけていこうと決意して引き受けたのが当時の流れです。

古市 そういった状況で社長に就任されて、プレッシャーもあったと思います。まずどんなことに着手されたのでしょうか。

北川 やはり前任者の個性が強かったので(笑)カリスマ的な経営者が突然いなくなった状況下で、まずは「全員営業・全員経営」という言葉を掲げ、みんなでクラブ運営をする雰囲気を作ることを考えました。

## 古市聖一郎

公益社団法人  
岡山青年会議所  
理事長

それから現在までを振り返ってみると、体制が変わって30代・40代前半の若手社員がぐんぐんと育っていることを感じています。これからクラブが20年・30年・50年と存続していくことを考えると、新体制になったのは、ある意味いいタイミングだったのかもしれないと思っています。

**古市** みんなで一致団結する雰囲気を作ったことで、社員の成長にも繋がったんですね。また社長に就任されたから、初めて見えてくることもあったのではないのでしょうか。

**北川** それまでは一社員として働いていたので、まず付き合う方の数が一気に変わりました。これだけ多くの方に支えていただいているんだという意識が強くなりましたね。しかし社員との意識が共有できているかは疑問に思うので、僕から社員のみんなに、多くの方に支えられていることを伝えていかなければいけないと思っています。

**古市** ここ10年で、市民のなかでフアジアーノ熱が高まってきたことを感じますし、北川社長がフアジアーノに関わった当初から状況は変わってきたのではないのでしょうか。

**北川** 2009年にフアジアーノがJ



たいというのが我々の目標です。というのもまちづくりであったり、地域に貢献したりすることがスポーツクラブの役割だと考えると、行政に頼るばかりではなく、多様な組織や団体が主体となって地域づくりをしていく。それを通じてこれらされているのが、岡山青年会議所だと思っていますので、我々も見習うべき点が多いというのが率直な感想です。

また私たちの理念「子どもたちに夢を」を実現するためには、この地域への貢献が不可欠です。ぜひ、また子どもに関わる事業などでも連携させていただきたいですね。

**古市** ありがとうございます。私も今期から理事長をさせていただいているのですが、自分たちの強みは40歳までしか所属できないという「若さ」だと

リーグに昇格した時の調査では、岡山県民が1年間にスポーツの興行に費やす額は一人あたり11円でした。これは当時、47都道府県のなかでも最低の数字でした。そんな状況のなかで我々がプロスポーツクラブを立ち上げました。それから10年間、一切無料券を配布せず、その代わりにチケットを日本一安くしたり、フードやイベントを充実させたりすることで、まずは岡山の皆様にスポーツを楽しんでいただく文化をつくりたいと考えて活動してきました。そして現在の岡山を見渡してみると、岡山で卓球のプロチームが立ち上がったたり、バスケットでもBリーグに新規参入したりするなど、プロスポーツ界に動きが出てきています。また角度を変えれば、2年半後には新しく岡山市民会館が完成し、県民の皆様が「今日はサッカーを観に行こう」とか「バスケットに行こう」、あるいは「市民会館でミュージカルを観よう」など、多様な選択ができる状況になってきたのだと思います。

**古市** フアジアーノ岡山の1万人を集める試合も増えてきたように感じます。

**北川** 入場者数と言うよりも、県民の皆様が自分事として、スポーツを盛り上げようとした結果が1万人だと

思うので、これからも若いからこそ許されることに臆さず挑戦していきたいと思っています。また岡山青年会議所には北川社長と同年代の若手経営者が多く所属しているのですが、期待されていることはありますか。

**北川** 古市さんのおっしゃるとおり若者、バカ者、よそ者が地域を変えていくと思います。まさに岡山後楽園の桃型ポートにしても、岡山にないものを探すのではなく、本来あるものを掛け合わせて皆様に注目される事業になっていますよね。

ないものではなく、あるものを見つけて一緒に新しいものを作っていくことが、青年会議所やスポーツの役割だと思っていますので、これからも一緒に力を掛け合わせていければと思っています。

**古市** プレーキをかけてくれたり、ハンドルを修正してくれる先輩たちもいらつしやるので、これからはエンジン全開でいきたいなと思います。最後になりますが、これからの目標や夢をお聞かせください。

**北川** 生意気な言い方になるかもしれませんが、これまでの10年間は、岡山に住まわれている方に、スポーツを楽しんでいただく文化づくりに取り組んできました。



思っています。しかし現在、スタジアムに来場していただいている方の平均年齢は44・6歳で、男女比率で言えば7対3と男性が盛り上がりつつあります。若者や女性まで盛り上がりつつあるという点、今後の空間づくりにしていくということが課題だと考えています。

**古市** 数年前には私たちと一緒に事業をさせていただいたこともありすが、岡山青年会議所に対する印象はいかがでしょうか。

**北川** 先ほどもお話しした「なぜ岡山にフアジアーノがあるのか」という言葉にも繋がるのですが、まさに岡山青年会議所のようなクラブになっていき

そして次の10年に向けて今、合言葉にしているのが、スポーツやフアジアーノが地域とのハブになって、このまちに貢献できないかということなんです。これからはスポーツを通じてまちづくりに関わること、もちろん、地域課題を解決できるようなクラブになっていきたいと考えています。

例を挙げると、昨年ブラジル人選手を獲得した際、ご家族も一緒に岡山に住みたいという希望を出されてました。そこで、彼のお子さんが通う学校を探したのですが、岡山に1校もインターナショナルスクールがなかったんです。こうしたインフラで他県に負けてしまおうということは、スポーツ以外の事業でも、優秀な外国人に来てもらって一緒にビジネスをしていくうえで壁になってしまいます。そこで我々のような公共性の強いスポーツ団体がこうしたことを発信していくことで、地域課題・社会問題を解決できるようなクラブになればと思います。

また私たちの理念はサッカーに対するものだけではありません。岡山で生まれた子どもたちが、どこであろうと好きなスポーツができる環境や、プロからスポーツを教えてもらえる、岡山がそんな地域になればと思っています。

## 若いからこそ許されることに 臆さず挑戦する

Seiichiro Furuchi 古市聖一郎

昭和54年生まれ。平成15年、日本大学商学部卒業後、株式会社トミヤコーポレーションに入社。平成22年同社代表取締役社長に就任し、現在に至る。平成26年、公益社団法人岡山青年会議所に入会し、平成29年リソース向上委員会理事委員長、平成30年専務理事を歴任し、平成31年より理事長。座右の銘は「道徳なき経済は罪悪であり 経済なき道徳は寝言である。」



## スポーツを通じて 地域課題を解決できるクラブに

Shinya Kitagawa 北川真也

昭和53年生まれ。平成15年、明治大学政治経済学部卒業後、北川正泰事務所勤務を経て平成17年より株式会社フアジアーノスポーツクラブに勤務。社長室経営企画特命プロジェクトリーダーとなり、平成26年よりホームタウン推進部長に就任後、平成30年より社長に就任し、現在に至る。座右の銘は「乾坤一擲」。





今年の「うらじゃ」は118連と多数の踊り連にご参加いただき盛大に開催されました。「温羅化粧(うらげしょう)」と華やかな衣装に身を纏った踊り子が岡山市内各所で華麗な演舞を披露してくださいました。毎年恒例となった「総踊り」は一般市民を巻き込んで開催され、フィナーレにふさわしい盛り上がりを見せました。岡山青年会議所はうらじゃ事務局の対応を中心に、演舞場の運営、一般市民の皆様への温羅化粧のサービスなどでサポートさせていただきました。2日間で56万人の集客を記録した岡山最大の祭「うらじゃ」に関われることを誇りに思い、岡山青年会議所は今後も「うらじゃ」を支えていきます。



# 第26回 うらじゃ2019 事業報告

8月3日・4日の2日間、毎年恒例の岡山の代名詞「うらじゃ」が岡山市内各所で開催されました。岡山青年会議所は今年も、岡山の夏で一番盛り上がると言っても過言ではない「うらじゃ」を裏方としてサポートし、開催を支援させていただきました。アツい夏の一場面をご紹介します！

今年も岡山青年会議所はうらじゃの開催を支援させていただきました。



# 2019 ACTIVITY REPORT

| 2019年度事業・活動のご報告 |

次年度理事長予定者紹介

郷土おかやまに新たなフュージョンを起し、  
名実ともにオンリーワンの岡山青年会議所を築きます。



2020年度  
公益社団法人岡山青年会議所  
第70代理事長予定者

高山 晃一

Koichi Takayama

昭和55年1月、岡山市に生まれる。平成14年、流通科学大学商学部を卒業後、伊丹産業株式会社に入社。平成18年に高山産業株式会社に入社し、平成26年に取締役副社長に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成27年1月に入会し、平成30年総務委員会理事委員長、平成31年よりまちづくり室副理事長を歴任。

2020年度 第70代理事長予定者を拝命いたしました、高山 晃一と申します。どうぞよろしくお願いたします。

令和の時代が幕を開け、2020年を目前にする今、日本は半世紀ぶりに開催される東京オリンピックや、5年後の万国博覧会の開催に期待と高揚感で溢れています。一方で、各地で起こる大規模災害の脅威と対応、未だ景気回復の大きな実感を得られない国内経済など、多くの課題解決が求められるこの時代は、まさに変革の時代と言えます。しかし、変革を実現し発展を望むのであれば、明るい未来に火を灯す、強いエネルギーが必要です。まずは私たち青年一人一人が変化を恐れず行動する、それは周囲に影響を与え、市民を、そして岡山のまちを動かすことができます。このまちを動かさんとするパワーこそが青年会議所運動の本質です。

この郷土おかやまには、無限の可能性を秘めた多くの資源が存在します。その資源同士の融合、資源と市民が融合することで、岡山にしかない新たな価値を持つ資源を創り出し、郷土おかやまに魅力と活力を生み出すことができます。その積み重ねは大きなうねりとなり、このまちに化学反応を起こすと確信しています。そのために岡山青年会議所は、唯一無二のまちづくりの団体として、広い視野と見識を持ち、青年らしく斬新な感性と行動力で、岡山のまちにしかないオンリーワンの価値を創造する健全で魅力あふれる事業を実施して参ります。

2020年度、岡山青年会議所は創立70周年を迎えます。過去に学び、時代に即した岡山青年会議所のブランディングを確立し、郷土おかやまに必要とされる団体であり続けるために、令和の時代を作るのは私たちだという気概を持ち、メンバー一丸となって新たなJC活動を展開して参ります。

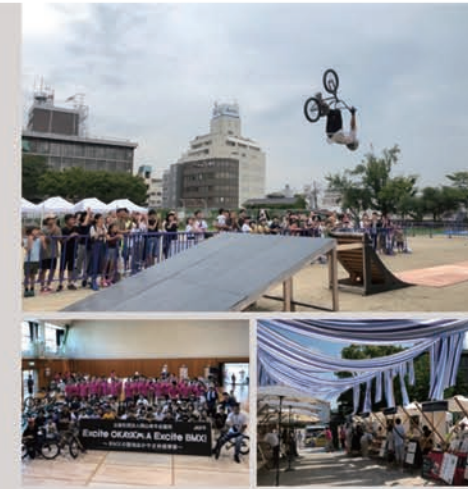
最後になりますが、関係各位におかれましては、変わらぬご支援ご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

PROJECT  
01

## Excite OKAYAMA, Excite BMX! 〈BMXの聖地おかやま体感事業〉

PR動画と体験事業で「BMXのまち おかやま」を発信!

当事業は、日本国内はもとより世界にも波及する可能性を秘めたスポーツ団体と連携した事業を実施することで、岡山から世界に発信できる可能性を秘めた団体が岡山に存在することを知らせ、おかやまのまちをブランディングすることを目的に実施いたしました。制作したPR動画は再生回数21万回を超え、拡散を続けております。旧岡山市立内山下小学校で実施した体験事業は不安定な天候ではありましたが、1,500名を超える来場で盛況のうちに終了しました。



PROJECT  
02

## キッズビジネスパーク2019

〈もっとおかやまが好きになる〉

未来を担う子ども達が  
岡山に夢と誇りを持ってもらえる事業を。

今回で6回目を迎えた本事業は、岡山ふれあいセンターにて一般社団法人カンコー教育ソリューション研究協議会と連携し開催させていただきました。参加児童数460名、総来場者数1,300名、出展ブース数45ブース、ボランティア数103名と、多くの市民と地元企業、学校、行政を巻き込んで、「地域の未来を担う子ども達がまちに夢と誇りを持つこと」を目的に事業を実施させていただき無事に事業を終えることができました。ご協力頂きました全ての皆さまに感謝申し上げます。



PROJECT  
03

## 理事長公職

理事長公職では様々な場に出席し、  
まちの活性化に貢献しています!

前回も紹介させていただいた理事長公職をご紹介させていただきます。理事長公職とは、理事長職以外に外部団体で担当させていただいている公職のことです。先日開催された「おかやま国際音楽祭2019」には、実行委員会の委員としてオープニングコンサートに出席させていただきました。その他にも「心豊かな岡山っ子応援団総会」への出席や、「岡山市ジュニアオーケストラ 第55回定期演奏会」に出席するなど、引き続きおかやまの活性化のために活動させていただいております。



# My Favorite Restaurant

メンバーオススメの飲食店 |



## LABOCCA ラボッカ cucina italiana

着飾った美味しさより、地味だけど本質的な旨さ。

オーナーシェフがイタリアで感動した、そういう正しい料理と熱い想いを持った生産者がつくったピュアなワイン、そして温かいサービスで「岡山にラボッカがあって良かった」と思ってもらえるようなお店を目指して営業されています。

パン、ハム、ソーセージ、パスタ、カラスミetc...自分達でつくれるものはなるだけお店のスタッフさんがつくっているとのこと。

美味しいことはもちろん、安心、安全であることは長く食べていくうえで、とても大切な事だと考えているからだそうです。



◎岡山市北区幸町4-5 カサセグーラ幸町101  
◎営業時間:18:00~23:00 (L.O 22:00)  
◎定休日:月曜日  
◎TEL:086-233-7178

## 「本場イタリアで修行したシェフの作るパスタは絶品！」



株式会社山脇山月堂  
専務取締役  
安部 真良

ラボッカは私が昔働いていたレストランレオニーの時に世話になった長島シェフが独立して開いたお店になります。一緒に働いていた当時から最高に美味しいパスタを作ってくれていました。イタリア修行から帰られた今はさらに進化させたパスタを提供してくれます。どの料理も美味しいですが特に私はオイル系のパスタがオススメです。皆様も機会があれば是非とも足を運んでみて下さい。



# JCI OKAYAMA MEMBERS

| 岡山青年会議所のアツいメンバーたち |

JCI OKAYAMA MEMBERS 02



Daishirou Ohkita

有限会社オオキタ・コーポレーション 取締役

## 大北 大士郎

会社設立年:平成5年

業種:不動産売買、仲介、賃貸、管理、宅地開発、介護施設の運営、コンサルティング

### 会社理念

住への安心、充実を弊社の使命として、誰もが安心して当たり前に行生活できる社会を実現するために地域に密着した会社となる。

### JCI入会のきっかけ

若手の経営者で構成されている「JCI」という会がある、という程度の知識でしたが、以前から同業者以外での繋がりを深め、岡山を基盤に経営を行う上で年齢も近い同じ立場・境遇の仲間が欲しいという思いがあったため、いつかは入りたいと考えていたところ、弊社とお付き合いのある企業の方が入会し声をかけていただいたのが入会をしたきっかけです。活動は大変なこともあります、得がたい様々な経験をさせていただいています。

JCI OKAYAMA MEMBERS 01



Ryutaro Noda

株式会社 優計コンサルタント 代表取締役

## 野田 龍太郎

会社設立年:平成24年

業種:建設、補償コンサルタント

### 会社理念

社員の夢が実現出来る企業となり社会に必要とされる企業を目指します。

### JCI入会のきっかけ

福岡出身ということもあり岡山での人脉を広げるために入会しました。実際に入会してみると幅広い業種の方々の出会いがあり、また活動を通して年齢に関係なく多くの仲間が出来ました。尊敬できる方々との出会いもあり、自己成長に大きく繋がり、入会して良かったと思うとともに、もっと早く入会していれば良かったという思いもあります。

## 新規メンバー 募集中

年齢・資格  
募集期間  
入会に際して必要なもの

私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

満20歳以上39歳以下の品格のある男女  
随時募集しております。詳しくは下記事務局までお電話にてご連絡ください。  
◎入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)◎履歴書◎入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)  
◎入会承諾書 ◎作文 題目「岡山JCI入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと※700字以上  
◎会社謄本※資格のみで正業に従事する場合は、資格証の写し ◎本人の住民票  
◎写真※縦4cm横3cm4枚(うち一枚は履歴書に貼付)※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可

公益社団法人岡山青年会議所  
事務局

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は12月発行予定です。

発行日 令和元年10月  
発行 公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階  
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com  
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所  
岡山JCブランディング委員会  
委員長: 綾部 健二郎  
青山 雅史・加藤 高明・津島 周史・大北 大士郎・蒲原 智樹  
妹尾 愛希・武元 浩・永山 栄一・野田 龍太郎・馬場 紀行